

第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会会長候補  
所信

小田原 雅人  
東京医科大学

糖尿病・代謝・内分泌・リウマチ・膠原病内科学分野

糖尿病慢性合併症は世界的な脅威であり、世界保健機関は糖尿病を非感染性疾患の最重要疾患の一つと位置付けています。糖尿病の予防や治療分野の基礎、臨床研究の進展は著しく、新たな経口薬の良好なデータが蓄積し、またインスリンや GLP-1 製剤の経口薬化など、患者さんのニーズに合った治療も開発されています。今後 iPS 細胞を用いた糖尿病の根治をめざした治療の研究も進んで行くと考えられます。また細小血管症や大血管症の他、認知症、感染症、悪性新生物、歯周病等の諸疾患が糖尿病で重要な課題となっており、予防と治療の重要性が増しています。私は第 63 回年次学術集会を、糖尿病に関連する基礎、臨床研究両方の優れた知見を多数発表していただく機会にしたいと考えています。『糖尿病と合併症：克服へのチャレンジ』をテーマに、糖尿病の原因・病態の解明、治療の進歩に大きく寄与できる契機となる学術集会にしたいと思いません。是非とも、ご支援頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。